

アーティスティックスイミング・ナショナルトライアル2024

テクニカルリクワイヤドエレメントとパネルまでの動作

実施上の規定：

1. 競技者は、種目別に抽選された4つのテクニカルリクワイヤドエレメントをフィギュアセッションと同じように1つずつジャッジパネルの前で行う。
2. 指定された位置(ジャッジパネル中央より5m以上右)から開始する。
3. テクニカルリクワイヤドエレメントを実施する前に指定された動作を速やかに行う。
水中移動の泳ぎ方は自由。
4. スイムウェアは、World Aquatics AS-RULES 2022-2025 8.5 に従い、黒い水着に白いキャップを着用すること。ゴーグルとノーズクリップの使用は任意とする。ジュエリー類は認めない。



一般規定：

テクニカルリクワイヤドエレメントの説明で特に指示がない限り：

- すべてのフィギュアまたはその部分は、附則 I、II に説明されている通りに行うこと。
- すべてのテクニカルリクワイヤドエレメントは、高く、コントロールよく、かつユニフォームモーションで行われ、各部分が明確であること。

1. ソロ テクニカルリクワイヤドエレメント

- ① ジャッジパネルの中央まで水中移動する。進行方向を向いたまま両手上のボディークラフトをして沈み、水中バックパイク姿勢になる。

1A- スラスト コンティニューアススピン 720° DD - 2.7

両脚が水面に垂直な水中バックパイク姿勢から、スラスト コンティニューアススピン 720° (2 回転) を行う。

- ② 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手をオーバーし、フロントパイク姿勢になる。右脚を曲げたフロントパイク姿勢変形(ヘリコプター)から両脚を上げ垂直姿勢になる。

2A-コンバインドスピン 1080°→コンティニューアススピン 1080° DD - 3.0

垂直姿勢から、コンバインドスピン 1080° (3 回転+ 3 回転) を行う。続けて同じ方向に、間をあげずに、コンティニューアススピン 1080° (3 回転) を行う。

③ 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に左手をオーバーして下向き水平姿勢になる。

3- ソードフィッシュストレートレッグ→ナイト DD-3.2

下向き水平姿勢から、水上に 180°の弧を描くように片脚を持ち上げると同時に背を反らせ、スプリット姿勢になる。前脚を素早く上げながら、腰を 180°回転し、フィッシュテイル姿勢になる。身体の垂直線を保ったまま、徐々にスピードを増しながら、水平の脚を水面に 180°の弧を描いて回し、ナイト姿勢になる。この姿勢を保ったまま、続けて同じ方向にさらに 180°回転する。垂直の脚を下ろしサーフェスアーチ姿勢になり、続けてアーチから上向き水平姿勢で終了する。

④ 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手をオーバーし、フロントパイク姿勢になる。

4A- フィッシュテイル半回ツイスト→コンティニューアスピン 720° DD-2.9

フロントパイク姿勢から、片脚を持ち上げながら 360°の回転を行い、フィッシュテイル姿勢になる。続けて同じ方向に半回ツイストを行う。続けて同じ方向に、水平の脚を持ち上げながら、さらに 360°の回転を行い、垂直姿勢になる。続けて同じ方向に、コンティニューアスピン 720° (2 回転) を行う。

⑤ ジャッジパネル中央まで水中移動する。進行方向を向いたまま両手上のボディーストをして沈み、水中バックパイク姿勢になる。

5A- ロケットスプリット ベントニージョイント 360° DD-2.4

両脚が水面に垂直な水中バックパイク姿勢から、垂直姿勢までスラストを行う。最高位を保ったまま、両脚を素早く開いてエアボーンスプリット姿勢になる。後ろ脚を素早く持ち上げながら、前脚を曲げてベントニー垂直姿勢になる。曲げた膝を伸ばし、足首が水面に達するときに垂直姿勢になるように、素早い 360°スピンをを行う。スラストと同じテンポで垂直沈み込みを行う。

2. デュエット テクニカルリクワイヤドエレメント

① 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手でバックをし、上向き水平姿勢になる。

1A- ウォークオーバーバック クロージング 360°→コンティニューアスピン 1080°

DD-3.0

上向水平姿勢からサーフェスアーチ姿勢になる。片脚を持ち上げ、水上に 180°の弧を描いてスプリット姿勢になる。360°の回転をする間に、両脚を均等に閉じ、垂直姿勢になる。続けて同じ方向に、コンティニューアスピン 1080° (3 回転) を行う。

② ジャッジパネルの中央まで水中移動する。進行方向をむいたまま両手上のボディーブラストをして沈み、水中バックパイク姿勢になる。

2A- ロケットスプリット アルタネイト→スピン 180° DD-2.8

両脚が水面に垂直な水中バックパイク姿勢から、垂直姿勢までスラストを行う。最高位を保ったまま、両脚を素早く開いてエアボーンスプリット姿勢2回アルタネイト(交互開脚)を行う。両脚を素早く閉じ、垂直姿勢になる。素早い180°スピンをを行う。

③ 右手前のキックプルを2回行い、続いて3回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手でバックをし、上向き水平姿勢になる。バレレグを上げる。水平の脚のすねを水面に沿って引き、水上フラミンゴ姿勢になる。曲げた脚を伸ばし、水上バレレグダブル姿勢になる。

3A- フラミンゴ 1回ツイスト ハイブリッド DD-2.9

水上バレレグダブル姿勢から、両脚を垂直に保ったまま、腰を持ち上げ胴体をアンロールし、垂直姿勢になる。1回ツイストを行う。続けて同じ方向に、間をあげずに、さらに180°の回転をしながら、両脚を均等に開いてスプリット姿勢になる。ウォークアウトフロントを行う。

④ 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手をオーバーし、フロントパイク姿勢になる。

4A- フィッシュテイル→ナイト→コンティニューアススピン 1080° DD-3.2

フロントパイク姿勢から、片脚を持ち上げ、フィッシュテイル姿勢になる。水平の脚を素早く持ち上げ、180°の弧を描いてナイト姿勢になる。水平の脚を持ち上げながら素早い1回ツイストを行い、垂直姿勢になる。続けて同じ方向に、コンティニューアススピン1080°(3回転)を行う。

⑤ ジャッジパネルの中央まで水中移動する。進行方向を向いたまま両手上のボディーブラストをして沈み、水中バックパイク姿勢になる。

5A- スラストベントニー トワールスピン 360° DD-2.3

両脚が水面に垂直な水中バックパイク姿勢から、垂直姿勢になるまでスラストを行う。片脚を下ろしながらトワールを行い、ベントニー垂直姿勢になる。続けて同じ方向に、間をあげずに、曲げた膝を伸ばして垂直の脚に合わせながら、足首が水面に達するときに垂直姿勢が完了するよう、素早い360°スピンをを行う。スラストと同じテンポで垂直沈み込みを行う。

3. チーム テクニカルリクワイアドエレメント

① ジャッジパネルの中央まで水中移動する。進行方向を向いたまま両手上のボディーブラストをして沈み、水中バックパイク姿勢になる。

1A- フライングフィッシュ ハイブリッド スピン 180° DD - 2.5

両脚が水面に垂直な水中バックパイク姿勢から、垂直姿勢までスラストを行い、高さを保ったまま、片脚を素早く下ろし、エアボーンフィッシュテイル姿勢になる。間をあげずに、水平の脚を素早く上げて垂直姿勢になる。素早い180°スピンをを行う。

② 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手をオーバーし、フロントパイク姿勢になる。右脚を曲げたフロントパイク姿勢変形（ヘリコプター）から両脚を上げ垂直姿勢になる。

2A- 垂直姿勢 → 1 回ツイストでベントニーへ → 1 回ツイストで垂直姿勢へ → 180°オープン → ウォークアウト DD - 2.6

垂直姿勢から開始し、片脚を下ろしながら 1 回ツイストを行い、ベントニー垂直姿勢になる。同じ方向に、曲げた膝を伸ばして垂直姿勢になりながら、さらに 1 回ツイストを行う。続けて同じ方向に、両脚を均等に下ろし、スプリット姿勢になりながら半回ツイストを行う。ウォークアウトフロントを行う。

③ 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手をオーバーし、フロントパイク姿勢になる。片脚を上げフィッシュテイル姿勢になる。

3A- 2 回のフエッテローテーション → 垂直姿勢 → コンティニューアスピン 720° DD - 2.6

フィッシュテイル姿勢からフエッテローテーションを2回（180°+180°）行う。水平の脚を素早く持ち上げ、垂直姿勢になる。同じ方向に、コンティニューアスピン 720°（2 回転）を行う。

④ 右手前のキックプルを3回行い、続いて4回目に右手を前にサイドキックで身体を横向きにして、左手をオーバーし、フロントパイク姿勢になる。

4- バタフライ ハイブリッド DD - 2.9

バタフライ ハイブリッドは素早く行う。フロントパイク姿勢から片脚を上げ、フィッシュテイル姿勢になる。水平の脚を 180°の弧を描くように素早く持ち上げると同時に、垂直の脚を下ろしてスプリット姿勢になるやいなや、前脚を上げながら腰を 180°回転し、フィッシュテイル姿勢になる。続けて同じ方向に 180°回転しながら水平の脚を上げ、垂直姿勢になる。両脚を同時に下ろしながらベントニーサーフェスアーチ姿勢になる。（注：ベントニーサーフェスアーチ姿勢のベントニーはどちらの脚でもよい）。曲げた膝を伸ばし、サーフェスアーチ姿勢になり、連続した動きでアーチから上向き水平姿勢で終了する。

- ⑤ ジャッジパネルの中央まで水中移動する。進行方向を向いたまま両手上のボディースラストをして沈み、水中バックパイク姿勢になる。

5A-ロケットスプリット ベントニー トワール ハイブリッド DD-2.4

両脚が水面に垂直な水中バックパイク姿勢から、垂直姿勢になるまでスラストを行う。最高位を保ったまま、素早く脚を開いてエアボーンスプリット姿勢になり、続けて素早い180°回転を行いながら前脚を曲げ、エアボーンベントニー垂直姿勢になる。曲げた膝を伸ばして垂直の脚に揃えながら、足首が水面に達するとき両脚が揃うよう、素早い垂直沈み込みを行う。

以上